

# 丈夫がいいね

じょうぶ

776

日本人の四分の一が発症しているときされる花粉症。患者数は年々増えているが、発症率はスギが多いはずの山間部より、都市部の方が高いという。なぜだろう。

## ・排ガスの影響

二〇〇三(平成十五)年のスギ花粉症有病率は都市部で33・8%、山間部で26・7%となっている。スギ花粉に反応する抗体を持っている人で花粉症を発症している人の割合は都市部で60・2%、山間部で48・2%。都市部で生活している人

## 都市部に多い理由

の方が花粉症にかかりやすいことが分かる。

金大医学系公衆衛生学の中村裕之教授によれば、都市部に花粉症患者が多い理由には大気汚

# 暮らしの変化に起因

染、食生活や衛生状態の変化、ストレスなどが関係しているという。

大気汚染は、ディーゼルエンジンの排出ガスの微粒子など空気中の化学物質が、アレルギーに影響



花粉症と環境の関係について研究する中村教授

— 金大宝町キャンパス

食生活では、脂肪を多く取るようになり、無菌食品やレトルト食品を食べる機会が増えたことで、アレルギーを持つ人が増加した。

## ・接触を避ける

中村教授は「環境を戦前の状態に戻すことではできません。花粉症を発症しないようにするために、子どものころから花粉や化学物質を避けることが大切となります」と強調する。

生活は便利になった。衛生状態もよくなった。

その一方で、人は抵抗力を失い、アレルギー症状が増加した。「文明病」とも言える花粉症。症状を和らげるには、文明によってもたらされた負の側面を可能な限り避ける必要があるのだ。

になる条件が整いやすくなってしまふ。

中村教授によると、都市部では、花粉自体にも空気中の化学物質が付着しており、症状が出やすくなるという。

## 第18部

## 花粉症の季節

な免疫反応によって起こる。体内の免疫は主に感染症に関与するものと、アレルギーに関与するものの二つがある。戦後、衛生状態が向上し、感染症を引き起こす菌などに